

講義名	ヨーロッパ文化研究		
科目区分	グローバル展開		
担当教員	田村 弘行		
開講期・曜日・時限	後期 火曜日 5時限		
	2018年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2018年度 人間社会学部 観光学科 / 2018年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2018年度 経済学部 経済情報学科 / 2018年度 経済学部 経済学科 / 2018年度 商学部 マーケティング学科 / 2018年度 商学部 経営学科 / 2017年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2017年度 人間社会学部 観光学科 / 2017年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2017年度 経済学部 経済情報学科 / 2017年度 経済学部 経済学科 /		
履修開始年次	1年生	単位数	2
		講義コード	25011

主題と概要

ヨーロッパ圏を形成する社会の成り立ちや文化、人々の生活について、時に日本との関わりや日本の社会・文化への影響を、歴史的な経緯を踏まえながら総合的に学ぶことを目指す。主に、ギリシャ、イタリア、フランスの文化について概観する。

到達目標

- ・ギリシャ文化、イタリア文化、フランス文化の基本的な特徴がわかるようになる。
- ・ギリシャ文化、イタリア文化、フランス文化のいくつかの特徴を知り、国際的な感覚を持つようになる。

提出課題

ほぼ毎回授業の最後に簡単な小テスト・小レポートを課します。学んだ内容を要約し、気づいた点、意見・感想を書き加えて提出してもらいます。

評価の基準

上記の提出物と出席(Responを使用する予定)、授業中の参加・取り組みなどを平常点として考慮し、合わせて評価します。毎回の提出課題を10点満点で評価、15回で合計150点満点で評価し、その結果を100点換算します。

履修にあたっての注意・助言他

- ・ 評価の基準で、合格点は、100点満点で60点ですから、150点満点では90点必要になります。授業1回欠席で10点がなくなります。授業を4回休めば、150点のうち40点がなくなります。つまり110点で90点を取らねばならないことになります。出来る限り欠席しないことが単位を取得する鍵になります。
- ・ 2,3行しか書かないようないい加減な提出物、殴り書きの提出物は評価が低いのは当然です。提出物は、自分が学んだということをアピールする物であり、読み手へ敬意を忘れないようにしましょう。
- ・ 新聞、ネット情報、TV番組、映画などヨーロッパに関する情報について常にアンテナをはっておいていただきたい。本学のドイツ語入門、フランス語入門なども受講することがのぞましい。またNHKの語学講座などを視聴することもお勧めしたい。

教科書

.なし.

プリント資料及び参考文献

その都度プリント配布

授業計画

- 1 ヨーロッパ文化研究概観
- 2 ギリシャについて
- 3 イタリアについて
- 4 ギリシャ神話・ローマ神話とヨーロッパの美術について
- 5 キリスト教について
- 6 キリスト教とヨーロッパの美術 1
- 7 キリスト教とヨーロッパの美術 2
- 8 印象派について
- 9 フランスという国
- 10 フランスの12ヶ月
- 11 ロマネスク建築・ゴシック建築
- 12 フランスのモード
- 13 フランスの食文化
- 14 フランスの教育
- 15 フランス映画

予習・復習

- ・ 授業後に学んだ内容に関する書物、ネット情報などを収集し発展学習に努めること。
- ・ 授業で次回学習の予告をするので、そのテーマに関する情報を収集し予習しておくこと。

備考